

物 語	コメント
<p>昨日の夕方</p> <p><u>渡辺幸四郎宅前のへげに腰掛けて、渡辺さんのおばあさんと佐々木</u></p> <p>① <u>さんのおばあさんが話し合っていました。</u></p> <p><u>そこに近所の小学生が集団で通りかかりました。</u></p> <p><u>その時佐々木さんのおばあさんが小学生に言いました。「気いつけ</u></p> <p><u>でけれな」</u></p> <p><u>小学生達は「うん、わがった、おばあちゃん達も気いつけでな」</u></p> <p><u>と言いながら何やら鬼ごっこをしながらおうちに帰っているよう</u></p> <p>② <u>です。その中のひとりの子がある物を見つけました。</u></p> <p><u>二人のおばあちゃんが話すには、新屋のまちは昔に比べてなんとま</u></p> <p><u>だと見えなくなったもんだすな。昔はこごら付近は新屋では一番に</u></p> <p>③ <u>ぎやかなところだった。</u></p> <p>④</p> <p><u>と若い頃を懐かしみながら、ふと小学生が拾った物に目を向けまし</u></p> <p><u>た。</u></p> <p><u>それは何と榎サイダーの王冠でした。</u></p> <p>⑤ <u>「新屋は昔から水がうまいところだからサイダーもうめがった</u></p> <p><u>な。」</u></p> <p><u>「んだがらな」「んだなや」「何かおなか減ってきたなあ」</u></p> <p><u>「んだどもこの水飲むわけにいがねっすな。うちのばあちゃんに聞</u></p> <p><u>いたら法華寺の横のわき水を新政酒屋さんが秋田からわざわざこ</u></p> <p><u>こに汲みに来て酒をつかった。それほど新屋の清水はきれいだった</u></p> <p><u>ようです。」</u></p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代をこえて交流する場 ・うるおいのある町の一情景。こんなベンチが欲しいですね。 ・屋外で腰をかけた話しこめる場所が欲しいです。 ・小学生の通学路、地域で安全を守りたいですね。 ・へげ：この通りには秋田弁だすな。 ・気軽に声をかけるかけられる、そんな町だといいいですね。 ・老人も子供も気軽に話しかけられるという雰囲気、気配りはどこへいってしまったのでしょうか。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の「鬼ごっこ」は昔と変わらないのでしょうか、それとも…!? <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さみしくなったものだ。 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表町に面して住む人達が協働して賑わいの通りを表現できたらいいですね。 <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイダーはもう作らないのですか？ ・サイダーの王冠はどんなデザインだったのでしょうか？気になります。 ・恵まれた清水を活用し、飲める水と、街の中を潤す水路を作る。 ・飲めない流れ井戸が多い。飲めるようにできないだろうか？ ・一度でいいからきれいな水を飲んでみたい。 ・水がとてもきれいで、地域住民の誇りである事が分かる。

それを通りがかりに小耳に挟んだ大学生が佐々木のばあさんに聞きました。

「やっぱり新屋は水がきれいだったんですか？」佐々木のばあさん

⑥
は言いました。「んだよ。昔だば新屋さ湯治場もあつたみでだなあ

⑦
これからも新屋の環境を守りながらきれいな水を大事に活用して

いければな。何かいい方法ねもんだべが。」

「僕は～大学で～まちなみ景観を勉強しているので、これを卒業論

文のテーマにしてみます！」

⑥

・新屋の人は水に対する関心はありますがどう利用するといいのかを深く考えていないのではないのでしょうか。

⑦

・新屋温泉があるべき。
(気軽に利用できる企画とPRが欲しいね)
・ボーリングすれば、温泉出ませんかね。
・それは知りませんでした。
・人が集まってきていいですね。にぎやかにもなりますね。
・学生への問題提起、解決の場の提供。
・お酒も呑め、ゆっくり休める銭湯があれば良い。(一杯呑んで昼寝しと風呂へ入って、これを繰り返して1日終わる…?)

提案

- ・学生と地域住民が、情報のやりとりのできる場を作ってみる。
(水をイメージテーマにしてデザインする)
- ・飲む水場には、井戸端会議ができるような東屋を、又水路には鯉などを飼う。
- ・年に一回、仮称「清水まつり」「湧水まつり」を開催し、ムードを高めよう！！
- ・國萬歳酒蔵が、店の前で清水を提供している。困ったことに、そこに車を止めて水をくむかたが時々交通の障害になることも。このような問題を解消しながら、清水を提供し、新屋の物産を展示するなど。ゆっくり休めて、会話ができるスペースを用意できれば良い。
- ・水の利用による街の活性を図るシンポジウム、イベントが広く数多く欲しい。
- ・湧水で水路をつくり、魚を泳がせてみてはいかがでしょう？
- ・駄菓子屋のような小店を設ける。地元のおじいさんやおばあさん、おじさんおばさんが集いつつ、通りの安全に一役かう。そこでは、昔の遊びを子どもたちに教えることができる。榎サイダーも飲める。
- ・きれいな水を何に利用するのが一番よいのでしょうか。湯治場はダメでも足湯がある飲み屋はいいかもしれませんね。